



TOPICS

- ・春季リーグ戦を振り返って
- ・秋季リーグ戦開幕特集
- ・感染対策
- ・お米を寄付していただきました！
- ・保護者の皆様へ
- ・日本中に広がる！関大野球部の輪
- ・新生！学生コーチ
- ・激闘の前期チャレンジトーナメント
- ・編集後記



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

春季リーグ戦を振り返って

前半戦は打線の繋がりがなく、余分な四球から失点を許すなど、粘り強い野球ができず勝ち点を落とす形となりました。さらに追い打ちをかけるように、新型コロナウイルス感染拡大により立命館大学戦の出場を辞退するなど、チームの状態はどん底でした。また、リーグ戦も緊急事態宣言により中断を余儀なくされました。リーグ戦再開後のチームの合言葉は「秋に繋がれるように、良い試合をする」でした。その言葉通り、京都大学戦で勝ち点を奪取すると、近畿大学戦は5点差を追いついたり、無失策試合を達成したりする中で、2度のタイブレークに持ち込むなど粘り強い野球をすることで、秋に繋がる試合となりました。

またベストナインには、3試合連続本塁打・1試合7打点の記録で関西学生野球連盟に名を刻んだ久保田拓真(社4・津田学園)、連盟トップの12得点と圧倒的な生還率を誇った安藤大一郎(経4・西条)、5度目のシーズン打率3割超えを達成した野口智哉(人間4・鳴門渦潮)の4年生トリオが選ばれました！



○春季リーグ戦後の取り組み○

勝ち切ることの難しさを痛感させられた春季リーグ戦。「走者3塁で得点を取りきること」や「試合中の確認の声かけ」など何が足りなかったのか、敗戦の原因を突き詰めました。その結果、練習メニュー間の切り替えやグラウンド内の駆け足移動の徹底など練習中から姿勢を改め、これまで以上の緊張感が生まれました。

また、新チーム発足時に主将・坂之下晴人(人間4・大阪桐蔭)が掲げた「野球面以外も日本一」。その言葉を体現すべく掃除や挨拶など、基本から徹底的に見直しました。部訓の最初には「清掃の精神を重んじる」という言葉があります。この言葉が筆頭になるのは、全てがここから始まるということを指しています。毎日使用するグラウンド等、身の回りの清掃を行うことは、人としての品格を保ち健全な精神を宿させます。野球の技術だけではなく、一人ひとりが人間性の向上を図ろうと取り組んだ約3ヶ月。その集大成を秋季リーグ戦ではお見せします。春の雪辱を果たして、絶対目標である「全国制覇」へと繋がります！



KAISERSGARDENを造りました！



室内練習場を清掃する
山上歩翔(商2・龍谷大平安)



ベンチに掲示している
挨拶ポスター

秋季リーグ戦開幕特集

関大の初戦は、9月4日(土)わかさスタジアム京都での立命館大学戦です！2年前の明治神宮大会で関大に準優勝をもたらした選手たちを筆頭に、昨季から出場機会を増やす新人、チャレンジトーナメントで頭角を現した新星、そして野球部と応援団が織りなす日本一のスタンドが団結し、春の屈辱を晴らす旅が始まります。

何倍にも成長した関大野球部に温かいご声援をよろしくお願いいたします！

(球場での観戦に関する詳細は現在のところ未定となっています。詳しくは関西学生野球連盟HPをご覧ください。)



左の中継ぎエース！巻大地（商4・上宮）

これまでのリーグ戦では、自分が納得できる投球や結果を一度も残すことができていません。そのため、大学野球最後となる秋季リーグ戦では、悔いの残らないようにしたいと思います！また、「一球入魂」の気持ちを忘れずに一球一球全力で投げ抜きます。

関大屈指のマルチプレイヤー！藤崎悠（環境4・崇徳）

4年生にとってはラストシーズンとなる秋季リーグ戦。関大野球部を勝たすことができる存在となり、今季こそは「全国制覇」を成し遂げます！そして、悔いなく野球人生を終えられるよう、大好きな同期やかわいい後輩と最後まで野球を楽しみます！



野球部の応援団長！武田遼平（人間4・春日丘）

春は悔しい結果になりましたが、4年生にとってはラストシーズンとなる秋季リーグ戦に全てを懸けて応援したいと思います！そして、メンバー、スタンド関係なくチーム一丸となり塊のパワーで相手を圧倒して「全国制覇」を目指します！



これまで関大野球部を引っ張ってきた4年生を中心に、
「1」にこだわった野球でリーグ戦優勝、そして「全国制覇」を掴み取ります！

秋季リーグ戦ポスターを作成しました！

ポスターに使用する写真の撮影を行いました。



左から 坂之下晴人、
川崎圭汰(法4・関大北陽)

7月30日に秋季リーグ戦のポスター撮影を行いました。関大野球部では、リーグ戦ごとにポスターを作成しています。今季は関大の単独ポスターとなっており、大学最後のリーグ戦に臨む4年生10人に参加してもらいました。最高学年として試合への気合が伝わってくる撮影となりました！グラウンドとは異なる場所でも真剣に取り組む姿が印象的で、カメラマンさんの指示を受けて的確にポーズを決めていました。ポスターの作成をはじめ、秋季リーグ戦に向けた準備が着々と進んでいます！

4年生が中心となり、チーム一丸となって戦おうという気持ちのこもったポスターが完成しました。完成したポスターは関大チケットブースや大学内などに掲示している他、Instagramや関大野球部ホームページでもご確認いただけます！



桃尾岳宜(総情4・滝川第二)

感染対策

新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから1年半以上が経過しましたが、感染者数は増減を繰り返しています。また、8月2日には大阪府に4度目の緊急事態宣言が発令され、体育会の活動にも制限がかかっています。その中で野球ができることに感謝し、日々練習に打ち込んでいます。

約200人もの部員で活動しているため、より一層感染対策を徹底しています。今回は野球部で行っている感染対策を紹介します！



室内練習場の中には消毒液が多数置いてあり、トレーニング後に各自で消毒を行っています。



毎日練習前に体温を測り、記録しています。また、体調に関することもマネージャーが聞き取りをしています。



ベンチや室内練習場内には感染対策の貼り紙があり、日頃から部員の意識を高めています。



お米を寄付していただきました！

門脇啓介(シス理 2・大冠)のご家族からお米の寄付をいただきました。下宿をしている20人以上の部員に配り、美味しくいただきました！

いただいた日からさっそく美味しいご飯が炊けました！焼肉と一緒に食べて、タレとの相性も抜群でご飯がすすみました。体を鍛えるためにお米を食べてもっと力をつけたいと思います。ありがとうございました！



藤原太郎
(法1・佐久長聖)

保護者の皆様へ

大好きな野球、学業ができる日常を支えていただきありがとうございます！度重なる自粛期間中は仲間と顔を合わせる事ができず、コミュニケーションを取ることが容易ではありませんでした。しかし、練習が再開されると同時に野球と向き合えることや、チームメイトと何気ない会話で笑い合えることが素晴らしいことだと改めて気づくことができました！感謝の気持ちを忘れず、応援されるチーム作りに努めていきますので、今後も温かいご声援をよろしくお願いいたします。

最新情報をお届けしています！

主に、ホームページでは試合日程や速報、Facebookでは試合経過のお知らせ、ブログでは試合結果や日々の野球部の取り組みの報告、Instagramではオフショットの掲載など様々な企画を行っています。



関大野球部 Instagram

各ページへは左の二次元コードからアクセスいただけます！

秋季リーグ戦の試合情報や結果、プレー写真の掲載を予定しています。球場へ足を運んでいただくことが難しい方もたくさんいらっしゃると思いますので、発信している情報を活用していただけると嬉しいです！



HP



Facebook



ブログ



Instagram



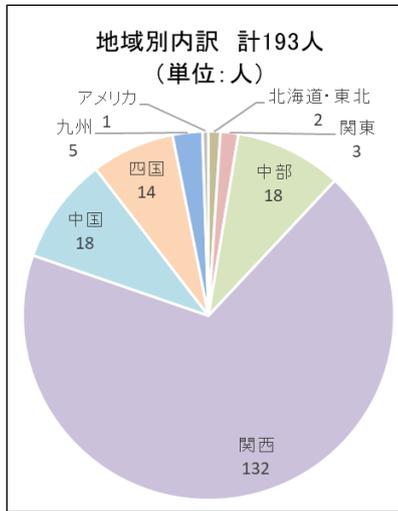
日本中に広がる！ 関大野球部の輪



現在、関大野球部は 181 人の選手と 12 人のマネージャーが所属しています。ふとした会話の中で様々な方言が混ざり合ったり、地域自慢が飛び交ったりするなど、多様性溢れる野球部だと感じることがあります。そこで、部員の出身高校都道府県を調査しました！

関西圏の高校出身者が 68%を占めている結果となりましたが、全ての地域に出身者がいることが分かりました。地域の垣根を越え、1 つの野球部に集まることは奇跡に近いのではないのでしょうか！？これからも“一期一会”という言葉のように、出会いに感謝し日々練習に励んでいきます！

(出生地ではなく出身高校が所在している地域・都道府県のランキングとなります。)



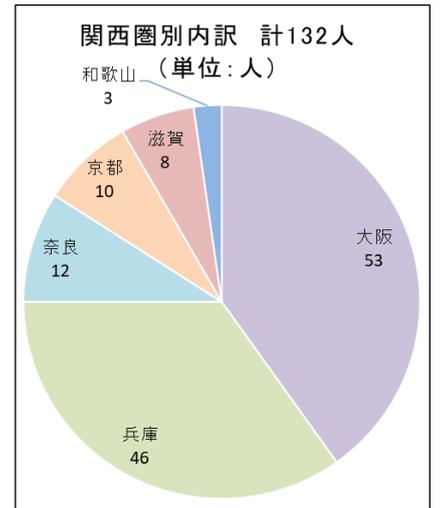
関大野球部最北端・北海道の高校出身 竹元拓海(総情4・北海)のコメント



冬はグラウンド一面に雪が積もる特性を生かして、「クロスカントリースキー」を練習に取り入れていました。全身を使わないと前に進まないの、全身を鍛えることができます。日頃の雪かきも大変で、これもまたトレーニングの1つとなっています！

関大野球部最南端・宮崎県の高校出身 野村元希(人間2・日向)のコメント

言葉遣いが全く違って慣れるまでに時間がかかりました。関西に来るまではこんなにも自分の言葉遣いが訛っているとは思っていませんでした。また関西も非常に暑いですが、関西以上に宮崎県は暑いです！宮崎県で野球をしていた過去の自分が凄いと思います。



高知県レポート

高知県安芸市で行われている春季キャンプは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年連続の中止を余儀なくされました。毎年お世話になっていた高知県や、安芸山登家旅館へ行くことができず残念な気持ちでいっぱいです。そこで、関西大学野球倶楽部(OB・OG会)会員の皆様に安芸山登家旅館へのご寄付をお願いしましたところ、177名の方々からご厚志を賜りました。

来年は行われることを願う春季キャンプ。関大野球部唯一の高知県出身・山下竜矢(人間4・高知追手前)に魅力を聞いてみました！

高知県は、存在感のある太平洋、有名な四万十川や仁淀川、森林率全国一位の山々など、とても自然豊かな場所です！また、鰹のたたきに代表されるグルメや、お酒をこよなく愛する県民性など、ゆったり過ごすにはうってつけの県です。ドンキホーテはありませんが、皆様をもてなす心に溢れています！



高岡元監督と早瀬監督が山登家旅館をお訪ねした時の様子



新生！学生コーチ

緊急事態宣言が明けた6月、新しい学生コーチが2人誕生しました。学生コーチは練習の日程やメニューを決めたり、試合ではノッカーやランナーコーチを務めたりと、野球部に欠かせない存在です。関大野球部を学生コーチとして支えるという決断をした2人からも目が離せません！

岩田圭市(商3・関大一)

「全国制覇」に導くため、選手が野球に打ち込める環境を作り出すことが学生コーチの役目だと考えています。選手との信頼関係を大切に、時には鬼になることも忘れずにいたいと思います。このメンバーで神宮に行って笑えるように、死力を尽くして頑張ります！



岡畑統和(法2・関大一)

現役最後の試合でヒットを打つことができ、なにより仲間のおかげで楽しく野球をすることができました。そして、これまで野球をさせてくれた親に感謝したいです。今後は学生コーチとして、チームの「全国制覇」に貢献していきます！

激闘の前期チャレンジトーナメント

1・2年生を中心に行われるチャレンジリーグは、今期も昨年同様トーナメント方式で行われました。春季リーグ戦終了から約3週間、5位という結果に終わった悔しさを胸に、下級生は必死に練習に取り組んできました。3週間という短い期間ながら、毎日の練習の中で1つの目標を決め全員がその目標に向かって練習してきました。チーム力・技術力共に成長を遂げ迎えた熱戦を振り返ります！

6月24日@豊中ローズ
対立命館大学 ●3-6

両者無得点で迎えた3回、二死三塁から、高田幸(商2・伊川谷北)の左越適時二塁打で1点を先制。さらに5回には佐藤(経1・愛工大名電)、村田(法2・関大北陽)の連続適時打でさらに2点を追加し試合を有利に進めます。

投げては先発・金丸(文1・神港橋)が5回を1安打無失点に抑える好投を見せます！

しかし7回に2点を返されると、1点リードの9回には4点を追加され、3-6で初戦敗退となりました。

主将を務めた 岑幸之祐(社2・広陵)



1点リードで9回を迎えて二死を取り、チームとして勝ったなという「緩み」があったと感じています。主将として勝ちきれなかったことが悔しいです。

この経験を必ずリーグ戦に生かします！

編集後記

今回の奪首×Dash!第41号はいかがでしたか？

東京オリンピックや甲子園大会が無観客ながらも開催され、日本のスポーツ界がより一層盛り上がっています。そして暑い夏を越え、秋季リーグ戦がもうすぐ開幕しようとしています！このような状況下ではありますが、球場にて「情熱」溢れる選手たちにエールをお願いします。(試合に関する最新情報は関西学生野球連盟HPをご覧ください。)チーム一丸となって戦い抜きますので、温かいご声援をよろしくお願いいたします。



左からマネージャー・松本航汰(環境4・神戸学院大附)、須田海月(社4・東海大仰星)、松田知代理(政策4・聖カタリナ学園)、川上翔大(経4・三田学園)